

2(2) その他, 特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果, 世界的
位置付けなど。(評価年次報告「卓越した教育研究大学へ向けて」で報告する内容)
特筆すべき教育活動

【学部・研究科・教育情報】のため該当なし

特筆すべき研究活動

- 1) 研究に関する長期ビジョンの作成
 - ・研究所の研究分野・研究部を研究部門を中心とした4つのグループに分けてそれぞれの研究の将来ビジョンを作成し、実現に向けたアカデミック・ロードマップを作成した。
 - ・中間報告の後は、将来ビジョンの検討を重ね、国立大学附置研究所の全国共同利用・共同研究拠点の申請書に参考資料として添付した。また、これらのビジョンの一部について文部科学省研究振興局情報課に説明を行った。
- 2) 共同プロジェクト研究の立案
 - 共同プロジェクト研究A・B（継続：研究者個人参加型）
 - ・共同で研究を行うAタイプを33件、研究会・討論会を行うBタイプを24件、トータル57件の共同プロジェクト研究を推進した。
 - 共同プロジェクト研究S（新規：組織連携型）
 - ・NHK技術研究所及び静岡大学電子工学研究所との組織間連携共同プロジェクト研究Sとして、次世代のテーマである「スーパーハイビジョン」に関する研究を開始した。
 - ・慶應義塾大学及び大阪大学との組織間連携共同プロジェクト研究Sとして、「スピントロニクス」に関する研究を開始した。
- 3) 全国共同利用・共同研究拠点へ申請
 - ・文部科学大臣による「全国共同利用・共同研究拠点」の認定制度の創設を受けて、「情報通信共同研究拠点」を申請した（平成21年6月に拠点認定）。

特筆すべき社会貢献活動等

- 1) 研究所の活動を広く公表する「研究活動報告」の日本語版に加え、今年度は新たに英語版の「研究活動報告」を作成し、国内約300機関に配布した。
- 2) 「教育広報企画室」を設置するとともに特任教授を採用し、大学の入口と出口である高校・企業への広報及び高校への出前授業を行った。
- 3) 工学研究科、情報科学研究科の電気・情報系と連携して「東北大学 電気・情報 仙台フォーラム2008」を平成20年11月に仙台で開催した（再掲）。
- 4) 東北地方の大学生・大学院生、民間企業の若手研究・開発者へおくるセミナー「良くわかるワイヤレスITの最先端」を2回開催した（再掲）。
- 5) 川内記念講堂100周年記念改修の音響設計とその可聴化に関する研究成果について「東北大学イノベーションフェア2008 in 仙台」で紹介した。